



農業士会だより

No.129



会長挨拶

新発田ブロック 川瀬 雄介



この度は新たに認定を受け農業士会の仲間となった皆様、御入会、誠にありがとうございます。

当会では農業経営、農作業に役に立つような情報提供や研修を行うことで営農の学びやヒントになるような活動を行なっております。しがらみのない集団だからこそできる活動を最大限に行い、地元地域の頼れる次世代のリーダーを育てることができたらという想いで会長を務めさせて頂いている次第です。

二年という任期のなかでいかに学びのある活動ができるかを考えていますが、これまで通例で行なっていた行事をマンネリ化しない為にも、「知らぬを知る」ということに触れる機会を作りたいと考えています。役員が一丸となり新たな風を吹かせることができ、会員の皆様にそれを感じて頂ければ幸いです。

令和6年度を振り返ってみると、「園芸を始める時がきた」という副題の元で行なった農業士エキスポが過去最大の来場者数となりました。これまでの稲作を中心とした情報提供から、今後、各地で行われるほ場整備事業に絡めて、稲作農家でも導入ハードルの低い園芸品目、資材等の展示を行いました。新潟県では各地域で園芸1億円産地を目標に挙げていることもあり、園芸導入は稲作農家の会員にとって複合経営として注目されているように感じました。また近年の異常気象、夏の猛暑は当たり前のものとなり、お米作りが難しくなっている事も事実であります。一昨年は著しく一等米比率が下がり、平均反収が減り、令和6年は夏の大雨の影響で稲が倒伏したことで二年連続の減収となりました。全国的な不作が影響した結果として民間在庫が少なくなり、実需に対して十分に供給できなかったことでスポットでの取引が高値となり、誰も経験したことがないような米価になりました。販売単価が上がったことで収入が昨年度に比べ増加しましたが、燃料費や肥料費など、農業生産に関わるあらゆる資材の値段が上がっている為、未だに農業情勢は良くなっていないことが現状です。

このような混沌とした時代の中で、ただ農作業を行うのではなく、経営を發展させ、次世代に繋げる為の攻めの一手を出せるかが今後必要になってくるのではないかと強く感じています。冒頭にも申し上げた通り、農業士会では地域の頼れる担い手を育成すること、ブロックという垣根を越えた交流を図り、横の繋がりを深めることを目標としています。今後も県事業を通じて、皆様の新たな気付きの場を提供できるように役員一同で協力し、会を運営できれば幸いです。結びとなりますが、令和8年度、本県で農業担い手サミット開催が正式に決定致しました。引き続き、若い力で新潟県農業を盛り上げていけるよう御協力のほど宜しくお願い致します。

令和6年度青年農業士、指導農業士、
農村地域生活アドバイザー「認定式」
知事励ましの言葉

本日、青年農業士、指導農業士、農村地域生活アドバイザーに認定されました皆様へ、一言お祝いを申し上げます。
また、皆様には日頃から本県農業の振興と発展に御協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年、改正された食料・農業・農村基本法では、「食料安全保障」を基本理念に位置付け、将来にわたって、良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、国民一人一人がこれを入手できる状態の確保を図ることが謳われています。

県では、この基本理念を踏まえ、国内外の消費者の期待にしっかりと応えられるよう、「日本の食料供給基地」として持続可能な生産体制を作っていくかなければならないと考えております。

このため、基幹である新潟米の品質・生産性向上はもちろんのこと、園芸振興基本戦略に基づいた1億円産地の育成、畜産の経営基盤の強化、産地「新潟」

のブランドイメージの確立、さらには環境と調和した農業の推進に取り組んでいるところであり、こうした取組には、地域のリーダーとして本県農業の未来を切り拓いている、まさに牽引役である皆様との連携は欠かせません。

新潟県の農業が、若者から魅力ある職業、新しいことに挑戦できる職業として選ばれるよう、また、さらに本県農業が大きく発展できるよう、皆様と一緒に力強く進めてまいりたいと考えておりますので、より一層の御協力をお願いいたします。

終わりに、皆様の益々の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和7年1月30日
新潟県知事 花角 英世

令和7年新潟県農業士会 役員名簿

ブロック長

ブロック	氏 名
村 上	本 間 賢 二
新 発 田	坂 井 与 史
新 潟	笠 原 秀 夫
巻	小 林 竜 典
新 津	長 谷 川 祐 哉
燕 三 条	村 山 喜 隆
長 岡	川 上 智 広
柏 崎	飛 田 明 俊
魚 沼	武 藤 結 翔
南 魚 沼	高 橋 英 人
十日 町	大 口 浩 太
上 越	梅 澤 和 久
佐 渡	葛 西 大 樹

役 員

役職名	ブロック	氏 名
会 長	新 発 田	川 瀬 雄 介
副 会 長	魚 沼	鈴 木 雅 人
副 会 長	上 越	松 野 千 恵
会 計	新 潟	鈴 木 雄 太
事 務 局 長	佐 渡	神 蔵 治 人
専 門 部 会 長	村 上	稲 葉 信 市
専 門 部 副 会 長	長 岡	加 藤 弦 太
専 門 部 副 会 長	南 魚 沼	桑 原 宏 太
専 門 部 副 会 長	新 津	若 月 要
監 事	十日 町	北 村 公 太 郎
監 事	新 潟	大 岩 和 正

理 事

ブロック	氏 名
村 上	遠 山 利 幸
新 発 田	川 瀬 雄 介
	近 藤 祐 生
新 潟	鈴 木 雄 太
	成 田 稔 雄
巻	寺 澤 朋 之
新 津	羽 賀 信 孝
燕 三 条	丸 山 亮 太
長 岡	金 子 健 斗
	金 崎 優
柏 崎	江 部 広 大
魚 沼	鈴 木 雅 人
南 魚 沼	青 木 拓 也
十日 町	水 品 和 也
上 越	松 野 千 恵
佐 渡	神 蔵 治 人

新認定者紹介

新認定者

ブロック	氏名
新発田	阿部 春紀
新発田	大竹 和宏
新 津	横山 尚貴
新 潟	石井 健太郎
新 潟	渡邊 隼
新 潟	土橋 裕希
新 潟	北畠 真伍
新 潟	大関 史明
卷	大橋 人仁
長岡	南雲 亮太
魚沼	櫻井 剛
十日町	金澤 一裕
十日町	小海 輝忠
十日町	大津 心
上 越	金子 祐樹
上 越	早津 知祥

長岡ブロック 南雲 亮太
青年農業士になることで他の地域の農家とのかかわりも多くなるのでそこでその地域の課題や取組、行っている農業技術や考え方にふれ自分の知識にし、農作業の効率化などを行い会社や地域の発展に繋がりたいと考えています。



新潟ブロック 土橋 裕希
今年度青年農業士に認定を受けました新潟市の土橋裕希です。主に西瓜、百合の球根、馬鈴薯、チューリップを栽培しています。

新発田ブロック 大竹 和宏
これから多くの青年農業士の方々と交流を通して色々なことを学び、それらを自分の経営や地域農業の発展に生かしていきたいと思っています。

新発田ブロック 阿部 春紀
今年度、青年農業士の認定を頂きました新発田市の阿部春紀です。水稲と苺（越後姫）の栽培をしています。新認定式でも花角知事に誓いの言葉を述べましたが農業士会での交流を通じて農業や経営についても新たに学び、今後の自分の経営に活かしていきたいです。彼女募集中です。

新潟ブロック 大関 史明
私の新認定者としての抱負は、先任の農業士の方々と積極的な交流です。気候変動や突発的な異常気象による農作物への被害を抑えるためにも、対処法や実体験からの知見を得られる交流の機会を活用し、農家として成長していければと思います。

新潟ブロック 石井 健太郎
今年度より青年農業士として農業に従事するにあたり今後の抱負としては、まず諸先輩方と交流を深め栽培方法の知識の裾野を広げどのような環境でも栽培できるスキルを身に付けていきたいと考えています。

上越ブロック 早津 知祥
私は上越市で園芸農家をしている。早津知祥と申します。この度認定を受け、大変嬉しく感じております。経営面積は、約1000aで、夏は主に枝豆とハウスオクラ。秋冬はキャベツとカリフラワーを栽培しています。農業士会の皆様と通じること、知識を蓄え、さまざまな事象に対応できる農業者になれるよう精進してまいります。また、日本の農業が持続できるよう少しでも貢献できるよう尽力いたします。ご指導・鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

新潟ブロック 横山 尚貴
今年度から新認定者になり、より一層身が引き締まる思いです。今後も、農業者として地域の保全や、日本の食料安全保障の為、日々精進していきます。また、若い人たちにも農業の魅力を伝え、感じてもらえるように励んでいきます。

上越ブロック 金子 祐樹
この度、青年農業士の認定を受けました上越市の金子祐樹と申します。

巻ブロック 大橋 人仁
このたび新認定していただきました大橋と申します。新潟市西蒲区で柿と水稲の生産をしています。農業士会では交流の中で多くの学びを得て地域農業の発展と持続可能な農業経営を目指していきたいと思っています。皆様からたくさんのご指導のもと一緒に盛り上げられるように活動していきたいと思っています。宜しくお願い致します。

魚沼ブロック 櫻井 剛
魚沼に養豚をさせていただいています。櫻井と言います。先輩農業者の方々の活動を通して得るものを、自身のものに出来たらと思っています。宜しくお願い致します。

十日町ブロック 金澤 一裕
新規認定になりました十日町ブロックの金澤一裕と申します。私は、父と共に水稲、園芸にて営んでおります。今後としましては、規模拡大と農福連携をし、農業を楽しみ、地域を支えてゆける農業者を目指していきます。

十日町ブロック 大津 心
『現状維持は後退』という言葉を座右の銘にしている自分にとっては、青年農業士は同世代の農家と意見交換し切磋琢磨できる貴重な場です。積極的に参加して自身の仕事にも活かせるものがあるればどんなに吸収したいと思っています。

十日町ブロック 小海 輝忠
今年度、青年農業士に認定されました十日町市の小海輝忠です。農業士会の先輩方との交流を通じて、知識や技術を向上していきたいと思っています。よろしく願いいたします。



農業士EXPO 2024

新潟県農業士会 稲葉 信市

2022年を最後に稲作経営を辞め施設園芸へ事業を集中。そんな中、「作物部会・園芸部会・畜産部会」が統合され新しい役職の「専門部会長」という役職へ就任しました。

過去の農業士EXPO、肥料農業農業機械メーカー等との情報交換会は専門部の中でも作物部会長が主体となって実施していたためメーカーの参集範囲も稲作に関連したものが多く印象でした。

せっかく稲作を辞めた私にこの役職が回って来たので、稲作だけでなく園芸をやっている人にも楽しめるような展示会を計画したい。

種苗会社や稲作農家向けの園芸導入、また栽培するだけでなく農作物の出荷先・納品先にかかわる企業もお呼びしたい。

そのコンセプトを基に2024年11月5日ハイブ長岡にて開催いたしました。

実際にはお呼びできなかった企業、実施できなかった計画等

ありました。当日の来場者は一般の方を含めて300名以上と過去最大の来場者となりました。

私自身普段なかなか直接お会いできない企業や直接のやり取りではなく取引先を経由して間接的にしか取引してこなかった企業に出席して頂き短いながらも直接お話しすることが叶いました。

参加された皆様が農業士EXPOを通じて様々な企業だけでなく農業に携わる関係者と繋がりが増え各々の経営の発展に繋がれば大変うれしく思います。



三士会交流会

農業、漁業、林業3つの士会交流会が今回漁業士会の主催で行われました。

今回の交流会は養鯉業について視察や、見学・意見交換会を行いました。

初めの視察は小千谷市にある大日養鯉場株式会社さんで養鯉業について学びました。この施設では錦鯉を野池と泉水飼育で飼育し品評会や販売を行っています。野池で自然の中で育成し、冬に越冬ハウスへ移動させます。自然環境の中で育てるのでこのびのびと育てられる反面外敵や気候の影響への注意が必要になり大変苦労もあるそうです。泉水飼育で品評会や販売に適した見栄えが出るように調整を行い大切に育てていました。

次に小千谷市錦鯉の里に移動し施設見学を行いました。

この施設では、錦鯉の歴史の紹介や餌やりを行うことができます。施設内は日本庭園の池や鑑賞池で泳いでいる姿を間近で見ることができます。



十日町ブロック 水品 和也

最後に小千谷市総合産業会館サンプラザで意見交換会を行いました。

今回三士会交流会に参加して漁業の中でも産業としては知っていたけど詳しくはわからなかった養鯉業について学び理解を深めることができました。今後もしこういった学びの機会を大切にしていきたいと思っています。

新潟県農業士会 第52回通常総会議事録

日時…令和7年3月13日(木)14時半～
場所…ANAクラウンプラザホテル新潟

第4回理事会参加人数 役員・理事・
監事・経普12名

【第1号議案】

令和6年度事業報告について
↓可決

Q1・新発田坂井…役員、理事、ブロック長で総勢何名か。

A1・事務局…役員11名(会長・副会長2名・会計・事務局長は理事兼務)、理事16名。ブロック長13名

Q2・新発田坂井…ZOOM参加もあるが、参加人数が少ないのではないか。

A2・事務局…理事会は理事16名、専門部4名、幹事2名、事務局1名のMAX出席者23名。ブロック長会議はブロック長と三役(会長、副会長2名)、会計、事務局長、事務局1名の計6名が加わりMAX19名参加となります。

追記…1.会議等の開催で第6回役員会、第4回理事会の参加人数が未記入であった議事録にて追記。

第6回役員会参加人数 役員・監事・
経普9名

【第2号議案】

令和6年度収支決算報告並びに監査報告について↓可決

Q1・新発田 荒木…収支決算、支出の部の会議費の詳細を教えてください。予算に対して額が多く感じた。

A1・事務局…総会費が増えた。会場費が年々高くなっている。また、垂れ看板は毎回県に印刷をお願いしていたが、県の印刷機が故障のためこちらで手配し、追加で3万円程かかっている。より詳細な内容が知りたい場合は、総会が終わる次第、総会決算を行うのでそちらでお知らせします。

Q2・新発田 大倉…①諸費の事務局費はディモルギアの委託費ということか。その場合、わかりやすく摘要に「ディモルギア委託費」と記載したきたい。

②雑収入の67万が大きい。会場費があがっているのわかるが、農業士EXPOの協賛金62万まで集める必要があったのか。メーカーさんか

らもらい過ぎではないか。基本的には残さないようにしなければいけないのではないか。

A2・事務局…①諸費はディモルギアの委託費。

専門部会長稲葉…②計画時点で開催ブリス40社目標に始めたが、実際は予定より多く55社出展していた。ただ、本来、資料代の印刷費もかかることを後援の新潟県経営普及課が印刷してくれたので印刷費用もかからず経費が減った。会場費も時間延長による追加費用もみていたので、多少多めに予備費をして抱えていたという事情もあった。

Q3・新発田 大倉…繰越金40万ほどあるの、懇親会費の補助などにまわしてほしかった。また、会員数が減り支出250万に対し、収入220万程なので、次回以降は会場費を抑えるなどの工夫はしてもらいたい。次年度以降は会場なども変えていく検討をしてもよいのでは。賛助会員制度なども検討してほしい。

A3・会長…EXPO出展者へのアンケートでは、ブリス出展料は安かったといった意見が多かった。県の会費とEXPOの収入源の2本となっているが、1会場を借りるだけかなりの支出があるため、できるだけ余裕をもった状態で次年度の運営に回したいという意向もあり、繰越金が少し多くなった。令和7年度は国

内外研修を計画しているため、その予算にあてたいという思いもある。賛助会員制度は検討します。

Q4・燕三条 村山…会議の回数が多いので、役員報酬をあげてはどうか。(特に副会長2名)

A4・会長…検討していきます。

Q5・新潟 袖山…支出の部 経営研修費 懇親会キャンセル代とは？

A5・専門部会長 稲葉…農業士EXPOで発生した費用で、EXPO当日受付時に申込用紙では懇親会参加となっていたところ、参加していないという案件があり、会計と相談の上、農業士の予算からキャンセル代を出した。

会計…内訳は3,500円×4名分

Q6・新潟 袖山…雑収入の徽章紛失代は、雑収入ではなく個人が買ってはどうか？

A6・事務局…1,980円は徽章1個の金額。徽章は年一回一括注文しているため個人での購入は不可。予備をいくつか確保しているため紛失時は注文時の金額をいただき新たな徽章を渡している。

Q7・新潟 浅田…ブロック活動費令和5年の122,420円は昨年度の事件で支払えなかった分を今年度支払ったということか？

A7・会計…通常前年度分を当年度に支

払うが、今年度は支払いができたので支払った。今年度は6年度、7年度が存在している。次年度は、今年度の分が次年度にいく分がある。

Q8・新潟 笠原…ブロック活動費、活動したブロックに対して上限を設けて出していると思うが、補助が必要なのか？なくてもそれぞれのブロック間の活動はできると思う。上限を下げるなど見直してはどうか。

A8・会計…次年度役員で話し合っ、ブロック活動費を抑えられるよう対応します。

Q9・新潟 袖山…活動報告にある三士会交流会の費用は？収支報告に記載がない。

A9・事務局…農業士会、林業士会、漁業士会がもちまわりで開催している。今年度は漁業士会のもちまわりで開催されたため費用はかかっていない。

Q10・長岡 岩淵…①収入の部169名と記載があるが、HPが170名になっているため、HPの訂正をお願いしたい。

②ブロック活動費だけ摘要に書かれている金額を足すと26,600円足りないがなぜか。

A10・事務局…①HPは4月1日以降、新たな会員数に修正。
②ブロック活動費26,600円は

ブロック活動費でかった交通費

【第3号議案】

担い手サミット誘致について

↓可決 質疑無し

【第4号議案】

令和7年度事業計画報告(案)並びに収支予算(案)について↓可決

Q1・上越 梅澤…担い手サミットの会議の回数が増えて会議費用が増えるのではないかとサミットは8年度開催のため、会議が多くなると思うが、7・8年の役員が大変になると思うのでサミットの予算で役員報酬があればよいが、無いようであれば役員報酬をあげてもいいのではないかと？

A1・事務局…今までは準備委員会という形で動いていたため、農業士会の予算より出していた。今後実行委員会になると予算がつくと思われるので、7年度予算で農業士会では予算は組んでいない。

事務局…実行委員の会議を行ったうえで、実行委員会からの報酬などの予算がつかない場合は、予算案を修正する可能性もあるという旨、了承いただきたい。

会長…会長と事務局長で参加した会議ではサミットの予算案は1,200万足りていない状況。おそらく協賛を集めて不足分を補う

予定。7年度の費用が余った際は、皆さんの承認の上で、報酬などにまわす可能性がある。

Q2・十日町 村山…収入の部、雑収入にEXPOの出展料がのっていないのはなぜか？支出の総会費が薄いのはなぜか。比較増減が多くでると思うが、修正の予定はあるか？

A2・会計…雑収入には、出展が何社になるか決まっていないので載せていなかった。今後見込み数などで予算組みできるように検討する。事務局…総会費は会場変更なども検討し、費用を予算内に収めたいと考えている。

Q3・十日町 村山…異業種交流費が△5万になっているので、増額を検討いただきたい。

A3・事務局…検討します。

Q4・新潟 佐藤…来年度もEXPOは同会場で行うと聞いたが、予算をみると圧倒的に足りないのではないかと？会場費38万に対して、専門部会研修費の予算では足りないのではないかと。

A4・専門部会長 稲葉…昨年同様、会の25万でやるということだけではなく、企業からの協賛金も足した金額で行っていく予定。日付と会場の本予約は完了している。会場の大きさや企業数によっても費用

が変わる。来年度に関しては、EXPOの事業計画はこれからたてるため、今後計画していく。会計…出展企業数が不明のため、去年並みの予算を組んでいる。また、今まで経営研修費でEXPOの予算を組んでいたが、今回より専門部会研修費を新たに設け、そちらからの支出に変更しました。

専門部副会長 桑原…総会の中でEXPOの細かい詳細を記載していないため、このような記載になっている。そもそも協賛金があればなりたない。また、今年度の余剰金なども加味した上での、経営研修費としている。EXPOのお金の流れは、EXPOの資料を作成し、活動していく。

Q5・現状出たいと言っている企業数は？

A5・専門部会長 稲葉…今年度の出展企業にアンケートを取ったところ、日程と予定があれば出たいという企業が7割程度いる。昨年と同じくらいの企業数を目指している。

Q6・巻 宮地…EXPOの予算は、昨年度報告でかなりの大きな額が動いているので、できれば総会の中で予算書だけでも提示していただきたい。出展者数も昨年ベースで見込みをつけて、予算を立ててはどうか。

A6・専門部会長 稲葉…今年度決算は

であるが、予算は不確定要素がかなり大きい。2025年11月は現役員が行うが、2026年度はどのような形になるかは、次の役員が決めて行くことになると思うので、現役員が計画するのは難しいと考えている。

Q7・新発田 大倉…賛助会員制度にして、収入に組み込んでどうか。7年度中に決めては？

A7・会長…限られた予算で運営しているため、賛助会員制度などを新たに作って予算を増やしたらどうか、役員含め検討する。

Q8・新発田 大倉…収穫感謝祭予算ゼロというの、やらないということだと思ふのでさみしい。

A8・会長…やってほしいという声があれば検討します！

Q9・新発田 坂井…国内外研修、次年度ぜひお願いしたい。新発田ブロックも予算をつけているのでぜひ一緒にいきたい。

A9・会長…行先など検討し連絡する。

【第5号議案】
会費の賦課額及び徴収方法（案）について↓可決 質疑無し

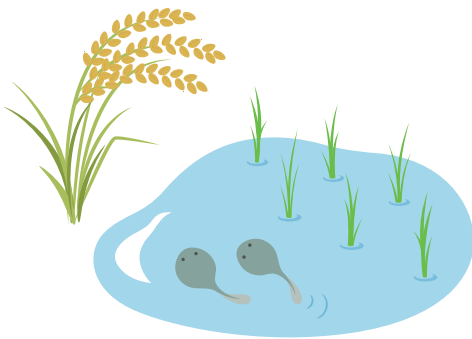
【その他提案など】

Q1・新発田 大倉…議案書はせめて1週間前までには欲しい。

A1・事務局…次年度は早めに提出する。

Q2・新潟 笠原…理事の参加人数が少ない。いつ理事会が行われているのかブロックに降りてきていないので、ブロック長にも日程を共有してほしい。出席できない理事がいれば、各ブロックが責任をもって代理をたてて参加し、理事会を開催するようにしてほしい。

A2・事務局…次年度はブロック長にも理事会の開催日を報告する。また理事が欠席する際は代理を立ててもらうようにする。



夏期研修会

長岡ブロック 金子 健斗

今年度が初開催の「夏季研修会」は8月20日に万代市民会館で2社の講師をお招きし行われました。

緑水工業株式会社様からは「国が推奨する汚泥肥料の活用」。ベジタリア株式会社様からは「下水汚泥資源活動による地域循環維持型発展プロジェクト」を講演いただきました。

会員のみなさんも耳にすることがある、「汚泥」という言葉、近年は輸入肥料の高騰などもあり資源として再活用され、肥料や土壌改良材として注目されています。

今回はそこにフォーカスした研修会で、肥料としての肥効や成分、現物も見ながら、地域資源としての活用方法など大変勉強になりました。

懇親会は「やすらぎガーデン2024」。信濃川の河川敷でさわやかな風を感じながらの懇親会は猛暑の夏とは一線を画し、非日常な体験で、とても楽しかったです。



農業士会を振り返って

退会者 長岡ブロック 伊藤 二郎

他業種から熟年就農した私は、地元
の農家仲間や研修で一緒になった仲間
しか知り合いのいない状態で農業士会
に飛び込みました。初めて参加した新
認定式や歓迎会では、モヒカンや金
髪、ちょんまげ、ヒゲ、室内サングラ
ス、酔っ払いのような人々がいて、更
に反〇のような話し方の会話に戸惑
い、前職からは考えられない環境だっ
たので、正直、馴染めるか不安でし
た。

そんな中、すぐに県理事になり2期
務め、その後に県会長、更におまけの
50周年実行委員長も経験。そして県監
事の時には皆さんに大きな迷惑をかけ
ました。ほとんどが苦悩と試練の連続
ではありましたが、この経験はかけが
えのない財産となりました。最初はあ
れだけ不安視していた農業士仲間達
は、皆各地域のスーパースターであ
り、その活躍を新聞やテレビで見るた
びに刺激を受け、仕事への悩みもみん
なと会うたびに解決し、新しい挑戦に
も意欲的になりました。

こんな素晴らしく熱い会に所属でき
ていた事は、自分の人生にとって大き
な財産です。「農業士会に入るメリッ
トは？」とよく問われますが、私は
「ここにはメリットしかない」と自信
を持って答えられます。
卒業しても絆は一生物です。みんな
に感謝。ありがとう。

退会者一覧

ブロック	認定年	氏 名
村上	21	吉 田 寿 継
新発田	28	小 野 晴 貴
新潟	25	朝 妻 雅 人
長岡	24	佐 藤 篤
長岡	28	伊 藤 一 郎
魚沼	25	古 田 島 正 信
南魚沼	25	南 雲 裕 樹
十日町	24	桑 原 隆 宏

この度、役員改選にあたり新しく副会長に任命いただいた魚沼ブ
ロック・鈴木雅人と申します。

今年度、役員改選後もバタバタしたスタートとなりどうなることか
と思ったのが第一印象でした。その中で前役員の皆様方にお力を借り
て、新役員の色をどう出すが課題でした。もっとたくさんの会員の
皆様に出席していただくにはどうするか？もっと楽しいイベントはな
いか色々模索からのスタートとなりました。

農業士会に入会後コロナ禍でなかなか参加できなかった私ですが、
お酒が好きな私としては会議後の懇親会がとても楽しかったです！県内
全域から集まる様々な農業士。そんな方々と触れ合え、交流でき、勉
強でき最高の場所だと思いました。

コロナ禍のおかげでZOOMといういいツールが広まりましたが、
逆を言えば相手の顔色や雰囲気かわからない…お酒ものめない…(笑)
会う回数は減りましたが会議等で集まった際には、しっかりと飲み
ニケーションをしたいと思います。

またこの歴史ある農業士会。理事・役員を含め、会員の皆様ともっと
発展していけたらと思っています。

最後になりますが、今回の農業士だよりを発行するにあたり、執筆
していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

副会長 鈴木雅人



発行所：新潟県農業士会
会長 川瀬 雄介
電話 〇九〇―七六六九―二三二五
事務局委託：株式会社ディモルギア
新潟市中央区上所二丁目一二十四
電話 〇二五―三八五―七六五六

編集後記